



# Softfront Report

## 2008年3月期 通期

(2007年4月1日～2008年3月31日)

# トップメッセージ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

## 2008年3月期通期決算につきまして

2008年3月期通期の決算についてご報告させていただきます。

通期の業績は、売上高674百万円、営業損失172百万円、経常損失171百万円、当期純損失338百万円となりました。

当初の業績予想を達成することができず、株主の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけすることとなりましたことを、改めて心よりお詫び申し上げます。

## 中期経営計画の策定

当社は、経営の基本方針である「当社のSIP技術をデファクトスタンダードにし、ライセンスビジネスを成功させる」ために2005年より5ヵ年計画を推し進めてまいりました。しかしながら上記の業績の通り、2008年3月期の終了時点で、5ヵ年計画の3年目として掲げた目標を達成することができませんでした。

この結果を受け、5ヵ年計画での未達成項目の原因追求・分析を行い解決策の検討を図り、新たな中期経営計画を本年3月に策定いたしました。同計画では、計画最終年度(2011年3月期)の売上高目標の最低額を20億円、経常利益目標の最低額を3億円としております。また「営業戦略の転換」と「営業力強化」をこの数字を達成するための重点課題として捉えております。

当社をとりまく市場環境は、3月末から商用化がはじまった次世代ネットワーク(NGN)への拡がりなど、依然として拡大傾向にあると予測しております。当社は、このような拡大する市場において営業戦略の転換を図り、営業力を強化することにより、当社の強みである技術の優位性を存分に生かして、お客様のニーズを確実に掴み、市場における存在感を高めてまいります。

業績という形で結果を出せるように、事業の安定、拡大に向けて全力で中期経営計画の達成に取り組んでまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げるとともに、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2008年6月吉日  
代表取締役社長

阪口克彦

# 営業概況

2008年3月期(2007年4月1日～2008年3月31日)における通信業界は、携帯電話のパケット網を使いマルチメディアサービスを実現させるための規格であるIMS(IP Multimedia Subsystem)をはじめとした、第3世代(3G)携帯電話のデータ通信速度を高速化させた通信規格3.5Gや高速無線技術であるWiMAXなど、次世代携帯電話をめぐる技術に注目が集まりました。またIMSを包含する規格として、国際標準化機関ITU-Tを中心に検討が進められている次世代基幹ネットワークNGNが2008年3月末に商用化サービスを開始するなど、活発な動きがありました。

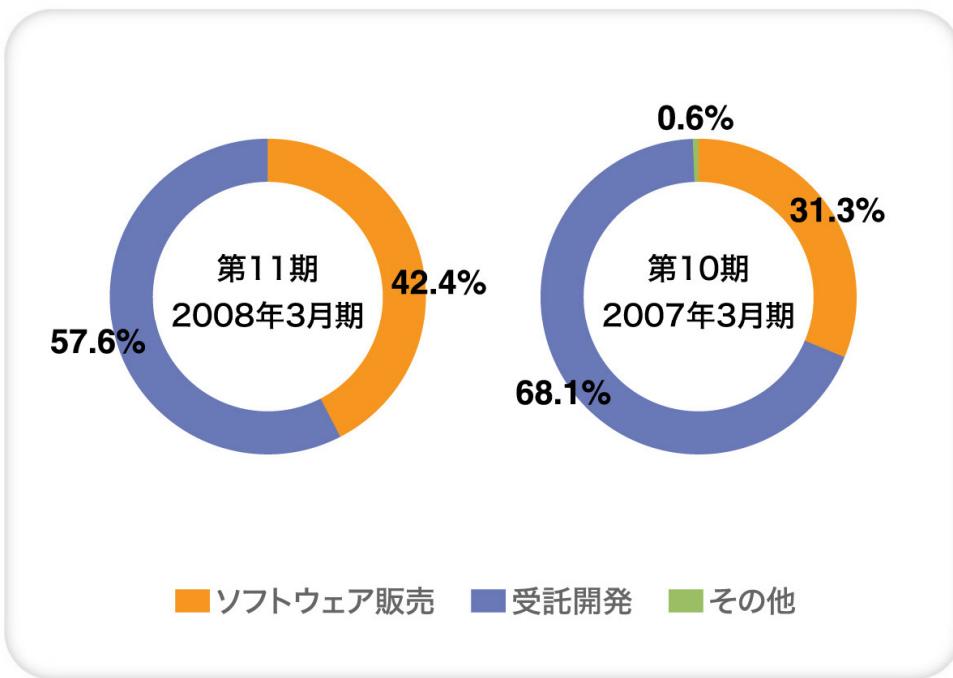
特に通信事業者にとりましては、その収益性と設備投資の観点からNGNへの転換は有益であり、今後益々広がりを見せるものと予想されます。当社事業の中心であるSIP関連技術はこのNGNの基本プロトコルに決定しており、今後は特に端末分野を中心に需要の拡大が見込まれます。携帯電話分野においては、高速データ通信サービスの導入などにより競争環境の激化に伴い、差別化のための新規サービスの需要が高まる予想されます。また、情報家電の分野に関しましては、IPを利用してデジタルテレビ放送を配信するIPTVの標準化が進められ、新しい市場の展開が期待されています。

このような市場環境の下、当社におきましてはこれまで2005年3月に策定した5ヵ年計画「第1次Excellent Company構想」の下に事業を推進してきました。2008年3月期におきましては、特にNGNの商用化に向けた関連案件の獲得や、今後商用化が見込まれる各種製品の受託開発案件獲得に向けて活動してきましたが、NGNの商用化サービスに向けた取組みは各企業において活発になってきたものの、現段階においてはインフラ側の整備が中心となっており、当社が見込んでいた端末側の市場につきましては、いまだ拡大段階に入っておらず、当社におきましても当初見込んでいた案件数の獲得に至りませんでした。また、第3四半期において大型案件の計画中断や規模縮小があったことなどもあり、売上高・各利益が当初の計画より大幅に下回ることとなりました。これらの状況により、当初の5ヵ年計画を見直し、2008年3月21日に改めて最新の状況に即した中期経営計画を策定するに至りました。本中期経営計画におきましては、今後も成長が期待される通信関連市場において的確に市場を捉え、案件獲得につなげることを目的とし、営業体制の変更を中心とした営業力の強化に重点を置いています。

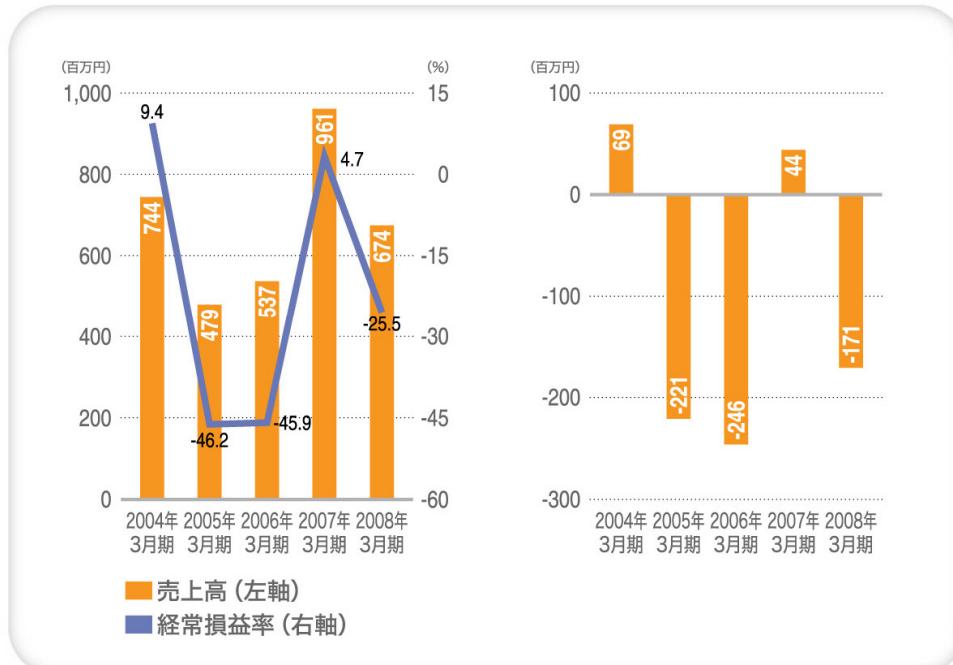
これらの状況の中、当社の2008年3月期の業績は、売上高674,859千円、営業損失172,119千円、経常損失171,892千円、当期純損失338,918千円となりました。

# 財務ハイライトー1

## ■売上高の構成

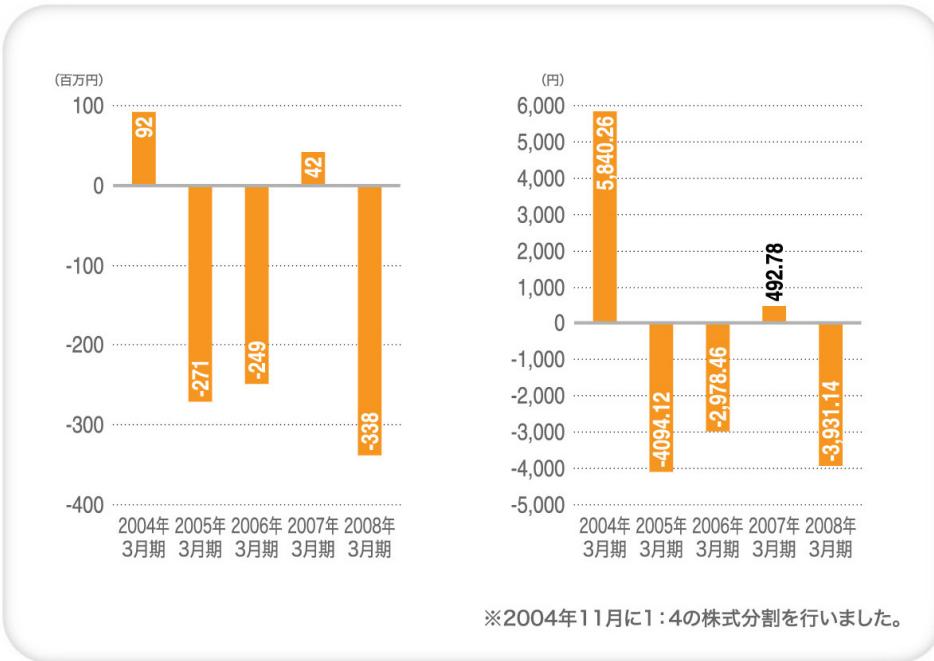


## ■ 売上高／経常損益率

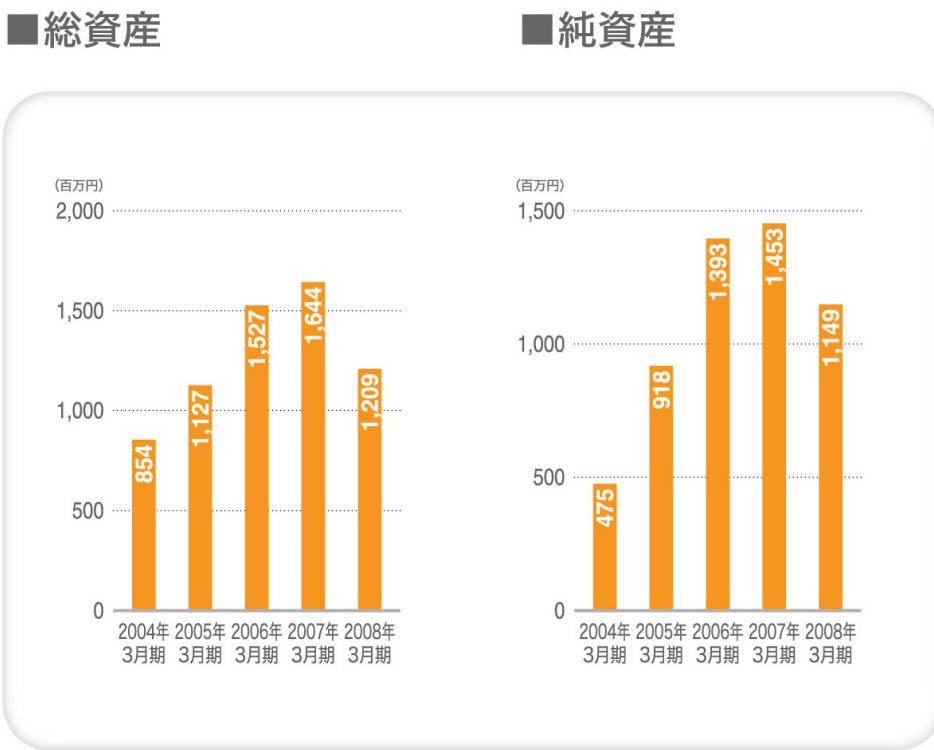


# 財務ハイライトー2

■当期純損益推移



■1株あたり当期純損益



# 財務諸表

## ■貸借対照表

(単位:千円)	第10期 2007年3月期	第11期 2008年3月期
<b>資産の部</b>		
I 流動資産	1,258,472	940,676
II 固定資産		
有形固定資産	25,097	21,565
無形固定資産	129,704	201,167
投資その他の資産	231,478	46,246
<b>資産合計</b>	<b>1,644,753</b>	<b>1,209,655</b>
<b>負債の部</b>		
I 流動負債	157,141	59,692
II 固定負債	34,049	—
<b>負債合計</b>	<b>191,190</b>	<b>59,692</b>
<b>純資産の部</b>		
I 株主資本		
資本金	2,723,254	2,742,915
資本剰余金	2,505,414	2,525,075
利益剰余金	△3,779,108	△4,118,027
II 評価・換算差額等	4,003	—
<b>純資産合計</b>	<b>1,453,563</b>	<b>1,149,962</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,644,753</b>	<b>1,209,655</b>

# 財務諸表

## ■損益計算書

(単位:千円)	第10期 2007年3月期	第11期 2008年3月期
<b>売上高</b>	<b>961,970</b>	<b>674,859</b>
売上原価	406,338	293,343
<b>売上総利益</b>	<b>555,632</b>	<b>381,516</b>
販売費及び一般管理費	509,536	553,635
<b>営業損益</b>	<b>46,095</b>	<b>△172,119</b>
営業外収益	659	2,014
営業外費用	2,004	1,788
<b>経常損益</b>	<b>44,750</b>	<b>△171,892</b>
特別利益	—	22,066
特別損失	59	186,672
<b>税引前当期純損益</b>	<b>44,691</b>	<b>△336,498</b>
法人税、住民税及び事業税	2,420	2,420
<b>当期純損益</b>	<b>42,271</b>	<b>△338,918</b>

## ■キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)	第10期 2007年3月期	第11期 2008年3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	8,512	△22,191
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,068	△146,847
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,731	△13,650
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△137
V 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	△246,283	△182,827
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,102,224	855,941
VII 現金及び現金同等物の期末残高	855,941	673,113

## ■株主資本等変動計算書(第11期:2007年4月~2008年3月)

(単位:千円)	株主資本		評価・換算差額等		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金
		資本準備金	その他の利益剰余金		
2007年 3月31日残高	2,723,254	2,505,414	△3,779,108	1,449,559	4,003
<b>事業年度中の変動額</b>					
新株の発行	19,660	19,660		39,321	39,321
当期純損益			△338,918	△338,918	△338,918
株主資本以外の 項目の事業年度中の 変動額(純額)				△4,003	△4,003
<b>事業年度中の 変動額合計</b>	<b>19,660</b>	<b>19,660</b>	<b>△338,918</b>	<b>△299,597</b>	<b>△4,003</b>
2008年 3月31日残高	2,742,915	2,525,075	△4,118,027	1,149,962	—
					<b>1,149,962</b>

# 株式の状況

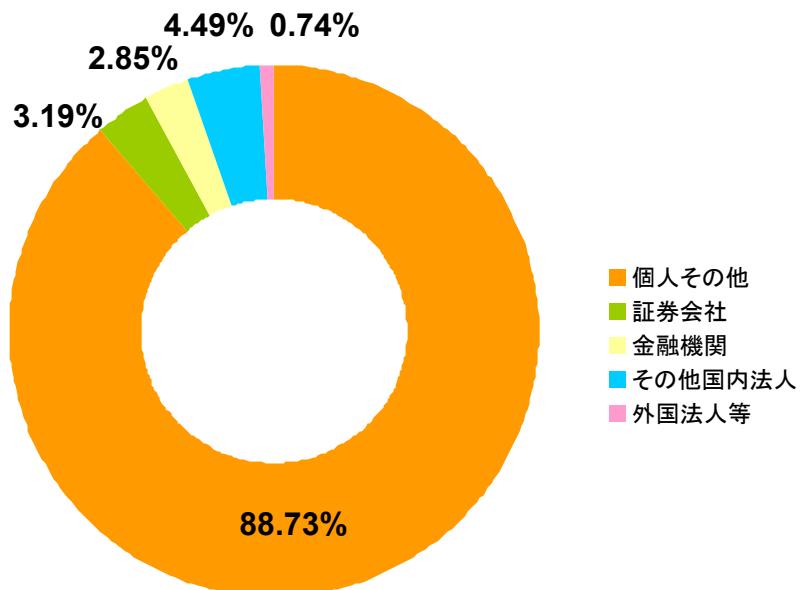
## 株式の状況

(2008年3月31日現在)

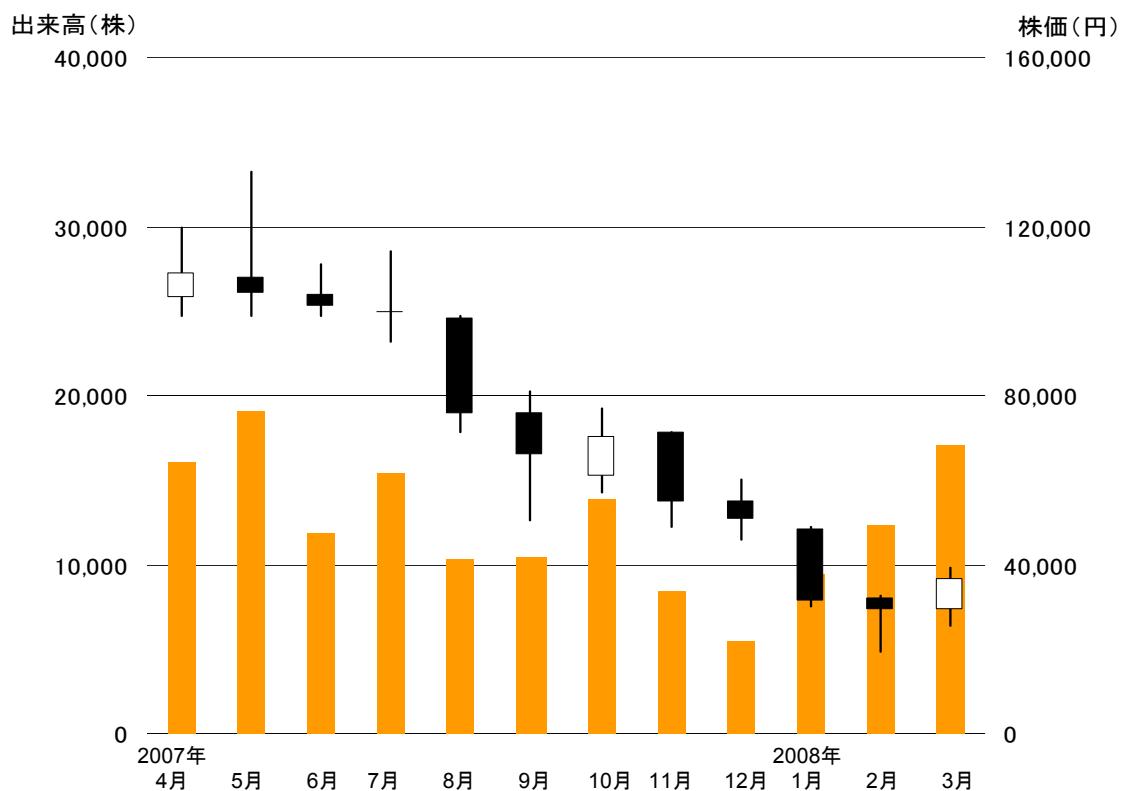
発行可能株式総数 : 324,400株

発行済株式数 : 86,272株

株主数 : 5,160名



## 株価・出来高推移状況



## ソフトフロントからのお知らせ

株主様のお問い合わせ先として専用ダイヤルを開設いたしました。  
電話番号:050-3365-5328（平日9時～18時）



### 東京本社

〒102-0052 東京都港区赤坂4丁目2-19

赤坂SHASTA・EAST 3F

Tel:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

### 札幌本社

〒060-0009 札幌市中央区北9条西15丁目28-196

札幌ITフロントビル 3F

Tel:011-623-1001 FAX:011-623-1002